

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本赤十字社長野県支部					
代表者名	氏名	阿部 守一	役職名	支部長		
主たる事務所の所在地	長野市南県町1074番地					
主たる事業の分類	大分類	P 医療、福祉				
	中分類	83 医療業				
主たる事業の概要	赤十字事業の普及・推進					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	9,003	8,788	9,374	9,672	9,660
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	17,749	17,089	18,562	19,234	19,142
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		18	0	0
自動車の台数	台	154		179	182	182
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	334				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

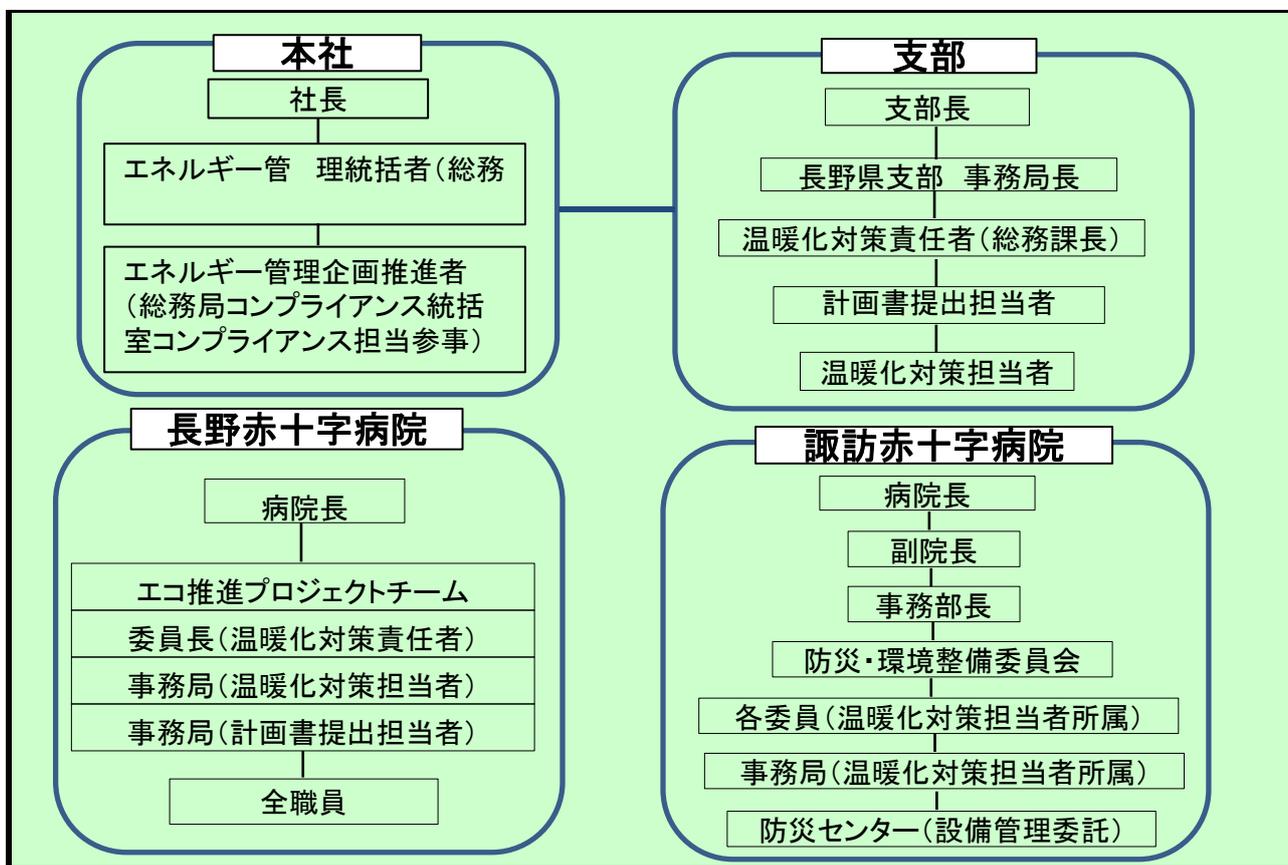
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	ホームページ： https://www.nagano.jrc.or.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

全職員が常に環境配慮の視点を持って仕事に取り組み、率先して温室効果ガスの削減や環境負担低減に向けた行動を実践することにより、低炭素社会及び持続可能な社会の実現に貢献する。(支部)
 長野県温暖化対策病院協議会が定めている目標(下段に記載)を達成するため、当院のエネルギー消費量を把握し節約に努める。
【目標】2019(令和元年)年度を基準として、2020(令和2年)年度から2022(令和4)年度まで、原単位(延べ床面積)当たりの原油換算エネルギー使用量を年率平均1%以上削減する。(長野HP)
 医療活動における、病める人が心身ともに癒される医療と環境を損なわない範囲に於いて、温室効果ガスの排出量を常に考慮し削減に努める。(諏訪HP)
 全職員が常に環境配慮の視点を持って仕事に取り組み、率先して温室効果ガスの削減や環境負荷の低減に向けた行動を実践することにより、低炭素社会及び持続可能な社会の実現に貢献する。(安曇野HP)
 長野県地球温暖化病院協議会等の情報を活用するほか、他施設の取組状況を参考にした省エネ対策を講じる。全職員で省エネ・省資源・リサイクル等に努める。(飯山HP)
 地球温暖化対策推進のための体制整備及び職員研修・啓発活動、省エネへの積極的取組み。(下伊那HP)
 身近でできる可能な限りの排出抑制を行う。(節電、ポスター掲示等)(川西HP)
 施設内での地球温暖化対策の啓発・推進体制の整備、省エネの積極的取組、日常的な省エネ活動の拡大拡充、CO2削減のための新たな取り組みと対応。(血液C)
 入所児の体調を考慮し、できる限り自然な空調を行う。(乳児院)

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

職員会議 月一回(支部)、エコ推進委員会 年1回以上開催(長野HP)、防災・環境整備委員会 隔月開催(諏訪HP)
 省エネルギー委員会 年1回(安曇野HP)、業務連絡会議 月1回(飯山HP)、係長会 月1回(下伊那HP) 管理会議
 月1回(川西HP)、事業運営会議 月1回(血液C)、職員会 月1回(乳児院)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	17,749	t-CO ₂	延床面積	153.52	単位	千m ²
2019年度	調整後排出量	17,746	t-CO ₂	基準原単位	115.62	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	17,089	t-CO ₂	目標原単位	112.73	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	3.72	%	目標削減率	2.50	%	
目標設定に関する説明	<p>毎平均0.6%減の抑制目標を達成できるよう、空調や照明などの適正な使用に努め、全職員で取り組んでいく。(支部)</p> <p>3年間で3.0%の抑制目標を達成する。(長野HP)</p> <p>照明器具(一般蛍光灯)の高効率LED化により、試算上1.58%(85t-CO₂)を削減目標に推進する。(諏訪HP)</p> <p>3年間で3%の削減目標達成のため、空調機管理・電力調整・その他対策を行い、省エネ機器更新も検討を進める。(安曇野HP)</p> <p>省エネ機器への更新(照明器具のLED化等)を促進することにより目標削減率の達成に努める。(飯山HP)</p> <p>適正な温度管理を実施する。(下伊那HP)</p> <p>空調設備のGHP切り替えによる、更なるエネルギー使用量の削減。廊下や事務室の節電により、電気使用量を削減。(川西HP)</p> <p>入所児の体調を考慮し、できる限り自然な空調を行う。節電に努める。(乳児院)</p> <p>職員が削減意識を持ち企業活動を行うことで抑制可能と考えられる削減率を設定(血液C)</p>						
第一年度	排出量	18,562	t-CO ₂	延床面積	153.52	単位	千m ²
	削減率	-4.59	%	原単位	120.91	t-CO ₂ /	千m ²
2020年度	調整後排出量	18,559	t-CO ₂	原単位削減率	-4.58	%	
	削減率	-4.57	%				
排出量等の増減理由	<p>節電に心掛け、電気使用量が大幅に減少したため。(支部)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として開設した新病棟にかかる空調設備稼働増、クリーンバーテーションの増設などに伴う電力需要の増加により排出量が増加した。(長野HP)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策により間欠運転を行っていた設備の24時間稼働を実施したため実質5.43%の排出量増加となった。(諏訪HP)</p> <p>2020年は、新型コロナウイルスの流行のため、院外へ送外用プレバリエータを5台を設置し、冷暖房器具、感染防止の空気清浄器・パソコン・プリンター等の増設をした。それに合わせて電源工事も行った。又、院内ではコロナ対応のため、病棟病室の用途変更・排気設備増設・24時間設備の稼働などを行った。この一連の対応とない、エネルギー使用量の増加・CO₂排出量の増加要因となった。(安曇野HP)</p> <p>基準年度は降雪量が少なく、暖冬であったため年間のA重油使用量(59kl)が少なかったが、第一年度は早期より降雪があり、気温も低かったため、A重油使用量(90kl)が大幅に増加した。(飯山HP)</p> <p>重油は設定温度、湿度の適正化。灯油は南棟給湯設備切替による削減。(下伊那HP)</p> <p>令和元年度は、暖冬のため、電気等の使用量が少なかったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策として全職員がマスク着用となったため、熱中症予防でエアコンの使用が増え電気等の使用量が増となった。また、コロナ患者の入院があった事もあり、使用量が増えた。(川西HP)</p> <p>コロナの影響による室内換気により冷暖房効率が低下したため電力消費が上昇。(血液C)</p>						
第二年度	排出量	19,234	t-CO ₂	延床面積	153.52	単位	千m ²
	削減率	-8.37	%	原単位	125.29	t-CO ₂ /	千m ²
2021年度	調整後排出量	19,231	t-CO ₂	原単位削減率	-8.37	%	
	削減率	-8.35	%				
排出量等の増減理由	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策として、事業継続を目的に分室執務体制を行うなど、庁舎内の電気使用量と都市ガス使用量ともに大幅に増加したため。(支部)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として導入した熱気システムやバーテーション設置により空調効率が悪化し、電力需要の増加により排出量が増加した。(長野HP)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策により間欠運転を行っていた設備の24時間稼働を実施したため実質7.21%の排出量増加となった。(諏訪HP)</p> <p>2021年も、新型コロナウイルス流行に伴い室内換気の励行を積極的に行い(窓・入口扉の開放)、冷暖房費の削減目標を達成できませんでした。また照明機器のLEDへ変更の計画も都市部の業者の院内入館を禁止した為、中断しています。(安曇野HP)</p> <p>前2年度と比較し、冬季の降雪量が多く、暖冬であったため、A重油使用量(101kl)は大幅に増加した。一方、年間を通じて電力のこまめなデマンド調整を実施したことにより、年間使用量が減少した。(飯山HP)</p> <p>2020年度に比べ冬の寒さが厳しかったため、重油、灯油の使用量が増加した。(下伊那HP)</p> <p>令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症防止対策として全職員がマスク着用となったため、熱中症予防でエアコンの使用が増え電気等の使用量が増となった。育児休暇中の訪問看護師が職場復帰した為、訪問看護車の利用が増えたことも要因となった。(川西HP)</p> <p>自動車の使用に伴う温室効果ガス排出量の増加。要因としては、移動採血車の稼働の増と、コロナによる移動採血車の冷暖房の非効率化によるものと考えられる。(R1-697台、R2-674、R3-680台)(血液C)</p> <p>入所児の体調を考慮しながら、できる限り自然な空調を行った。出来る限り無駄な電力をこまめに節電した。(乳児院)</p>						
第三年度	排出量	19,142	t-CO ₂	延床面積	155.46	単位	千m ²
	削減率	-7.85	t-CO ₂	原単位	123.13	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	調整後排出量	19,142	t-CO ₂	原単位削減率	-6.50	%	
	削減率	-7.85	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>当初目標に掲げた削減率は達成できなかったものの、総体として2021年度から2022年度にかけて、排出量の増加幅が減少した。</p> <p>病院施設においては、新型コロナウイルス感染症対策として室内換気の積極的な稼働や、陰圧措置・バーテーション設置による空調効率の悪化等から、基準年度と比較して排出量の増加量が高止まりとなっており、昨年度と同率程度となっている。</p> <p>一方で、猛暑による夏季の電気使用量の増加がありつつも、暖冬による重油・灯油の使用量の減少が顕著であったとともに、節電意識の高まりや、施設照明のLED化、ハイブリッド自動車等の次世代車の導入を進める施設もあり、それらも増加幅の抑制に起因していると思われる。</p> <p>特記として、血液センターは今年度に施設の統廃合を行い、準備期間中は重複して施設が稼働していたことや、移動採血車の稼働増加により、排出量増加があった。</p>						

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	18	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	334	t-CO ₂			単位	
2019 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	130101	温度設定の管理	2020～ 2022	0.5	2020～ 2022	
2	エネ起	310400	エネルギー使用量の管理（長野HP）	2020～ 2022	85	2020～ 2022	
3	エネ起	150201	高効率LEDへの更新（諏訪HP）	2020～ 2022		2020～ 2022	15
4	エネ起	150105	デマンド管理（安曇野HP）	2020～ 2022	5	2020～ 2022	
5	エネ起	120202	冷温水出口温度設定（飯山HP）	2020～ 2022	5.23	2020～ 2022	
6	エネ起	130101	設定温度、湿度の適正化（下伊那HP）	2020～ 2022	2	2020～ 2022	55
7	エネ起	150301	待機消費電力の削減（川西）	2020～ 2022		2020～ 2022	2.5
8	エネ起	130105	運転時間、ファン動力の軽減対策（乳児院）	2020～ 2022	4	2020～ 2022	
9	エネ起	150201	電灯設備のLED化（血液センター）	2020～ 2022		2020～ 2022	8
10	自動車		クリーンディーゼル車導入	2020	1	2020～ 2022	3

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電	kw	30.79	0	36.24	36.24	36.24
フリークーリング	tCO ₂	23.7	0	23.7	23.7	23.7

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上	1	6,541	2	12,441	2	12,968	2	13,030
1,500kl以上 3,000kl未満	1	5,369						
1,500kl未満	7	5,839	11	6,121	11	6,266	12	6,112
合計	9	17,749	13	18,562	13	19,234	14	19,142

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC		17.556		
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	18	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	1	1	1	1
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	1	2	2	3
その他 (ハイブリッド等)	4	5	5	7
合計	6	8	8	11
自動車総数	154	179	182	182
次世代車導入割合	3.9	4.5	4.4	6

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	毎年県下一斉ノーマイカー通勤ウィークに参加している。(全施設) 片道2km未満通勤者の自動車通勤禁止や自動車以外の通勤を促進。(諏訪HP、飯山HP) バス・タクシーの待機所設置、バス・電車の時刻表設置(諏訪HP、安曇野HP、飯山HP)
自転車の利用促進	近距離の移動は、社有の自転車で移動している。(支部、飯山HP) 駐輪場を確保している。(長野HP) 健康増進及び省エネの取組み実施可能な方に呼び掛ける。(安曇野HP)
来客者の交通対策	駐車場が混雑する時間帯を中心に駐車場案内係を配置している。(長野HP) タクシーや一般車両等の一時乗降場所の設置(諏訪HP、飯山HP、下伊那HP) 市で運用しているデマンド交通利用の呼びかけ(安曇野HP)
物流の合理化	配送委託システムを導入し、配送頻度の最小化を図っている。(長野HP) 納品業者と一般車両の導線分別(諏訪HP) 納品の集約化により納品回数を減らしている。(飯山HP)

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細		実施年度
		実施内容		
<input type="checkbox"/>	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/>	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
		名称		
<input type="checkbox"/>	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/>	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/>	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/>	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/>	RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
		<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/>	その他			

1.5 自由記載欄

<p>病院敷地内緑化、クールアースデーライトダウン活動への参加、リサイクル用品の使用(コピー用紙、廃棄物用段ボール、ペール缶)、空調機等の設定温度に関するポスターの作製・掲示。(長野HP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供給部門において定時配送の配送率向上に取り組んでいる。R3→68.9%、R4→77.4% ・献血推進部門において移動採血車の配車台数の削減に取り組んでいたが、コロナ禍により献血者が減少したこと、また採血計画数が前年より高くなったことにより移動採血車の稼働が増えた。(R3→680台、R4→699台)(血液センター)
